

## 2019 年 10 連休対策に関するアンケート

### 1. 目的

本アンケート調査は、2019 年 4～5 月の 10 連休に向け、様々な課題を把握して医療提供体制の確保策を検討するため、重要な検討資料を得ることを目的として実施する。

### 2. アンケート調査の対象：都道府県医師会

### 3. 回答期限：12 月 21 日 (金)

### 4. 主な内容

- (1) 行政における危機意識、医師会との連携
- (2) 医療関係団体、医療以外の分野の団体・事業者との連携
- (3) 考えられる課題
- (4) 日本医師会、国への意見、要望

※ 本アンケート調査により得られた回答は、日本医師会内における 10 連休対策の検討にのみ利用いたします。調査結果を対外的に公表する場合であっても、回答した医師会やご担当者等が特定されるような表現はいたしません。

#### お問い合わせ先

日本医師会地域医療課 (大原、木田、青木)

Tel 03-3942-6137 Fax 03-3946-2140

Email [chiiki\\_1@po.med.or.jp](mailto:chiiki_1@po.med.or.jp)

## 2019 年 10 連休対策に関するアンケート

都道府県医師会名 \_\_\_\_\_ 医師会

ご担当者名 \_\_\_\_\_

### (1) 行政における危機意識・対策立案の状況、医師会との連携

1) 貴都道府県行政（医療担当部局のほか、消防防災、保健・介護・福祉等の関連部局、保健所を含む）では、10 連休における医療提供体制の確保等について、どの程度の危機意識を有していると評価していますか。

5 段階評価にてお答えください。

（表の左欄に○印）

	1. 危機意識は極めて低い
	2. 低い、不十分
	3. まあまあ
	4. 高い
	5. 十分に高い

2) 上記で評価した理由をお書きください。（対策の立案・実施状況含む）

3) 貴都道府県行政は、10 連休への対策について、貴会との間で、どの程度の情報共有や連携を図っていると評価していますか。

5 段階評価にてお答えください。

(表の左欄に○印)

	1. 本会との情報共有や連携は極めて不十分
	2. 不十分
	3. まあまあ
	4. よくなされている
	5. 十分によくなされている

4) 上記で評価した理由、具体例をお書きください。

**(2) 関係団体・事業者との連携**

1) 貴会は、医療関係団体・事業者（医薬品卸、在宅）との間で、10 連休対策について情報交換や協議等、何らかの連携を取られていますか。

団体・事業者	主な連携内容

・連携を取っていない → 「(3) 考えられる課題」にお進み下さい。

2) 貴会は、医療以外の分野の団体・事業者（ライフライン、物流、金融その他）との間で、10 連休対策について情報交換や協議等、何らかの連携を取られていますか。

団体・事業者	主な連携内容

・連携を取っていない

### (3) 考えられる課題

- 1) 日本医師会では、現時点で、別表(後掲)のような課題があると認識しております。これらについて、ご意見、ご提案をお書きください。

現時点の課題	ご意見、ご提案
中央省庁、地方公共団体その他関係機関に対する注意喚起、連携の要請	
救急搬送・医療 (次の問いにもお答えください)	
公的医療機関等	
医療の提供：人工透析やがん化学療法等、検査、手術、入院、在宅	
外国人医療対策	
介護、在宅医療分野	
テロ災害対策	
日本医学会開催期間との重複	

2) 特に、初期・二次救急医療体制や連休中の外来について教えてください。

① 初期救急医療体制について

<p>在宅当番医制 実施体制</p>	<p>a. 全てもしくはおおよその地域で、参加医療機関・診療科を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>b. 一部の地域で、参加医療機関・診療科を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>c. 多くの地域では、通常のゴールデンウィークと同様の体制の予定</p> <p>d. 一部の地域で、参加医療機関が少ないため、例年通りの在宅当番医制が取れない恐れがある</p> <p>e. 多くの地域で未定</p> <p>f. 不明・その他 ( )</p>
<p>在宅当番医制が実施さ れていない地域 (複数回答可)</p>	<p>a. 臨時に、在宅当番医制もしくは類似の事業を実施する予定</p> <p>b. 休日夜間急患センター等の別事業があるため、それに対応</p> <p>c. 休日夜間急患センター等もないが、特段の対応を取る予定はない</p> <p>d. 不明・その他 ( )</p>
<p>休日夜間急患センター 実施体制 (次ページへ続く)</p>	<p>a. 設置している全てもしくはおおよその地域で、出務医師を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>b. 一部の地域で、出務医師を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>c. 多くの地域では、通常のゴールデンウィークと同様の体制の予定</p>

	<p>d. 一部の地域で、出務医師が少ないため、例年通りの体制が取れない恐れがある</p> <p>e. 多くの地域で未定</p> <p>f. 不明・その他 ( )</p>
<p>休日夜間急患センターがない地域 (複数回答可)</p>	<p>a. 臨時に、管内の(拠点)病院の休日夜間外来等に会員が出務する体制を実施する予定</p> <p>b. 在宅当番医制等の別事業があるため、それに対応</p> <p>c. 在宅当番医制もないが、特段の対応を取る予定はない</p> <p>d. 不明・その他 ( )</p>
<p>10 連休に向けた初期救急医療体制の財源確保</p>	<p>a. 多くの市区町村や都道府県行政では、10 連休中の対応のため、臨時に財源を確保する予定</p> <p>b. 従前どおりの予算確保</p> <p>c. 多くの地域で未定</p> <p>d. 不明・その他 ( )</p>

② 二次救急医療体制について

<p>病院群輪番制</p>	<p>a. 全てもしくはおおよその地域で、参加医療機関・診療科を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>b. 一部の地域で、参加医療機関・診療科を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>c. 多くの地域では、通常のゴールデンウィークと同様の体制の予定</p> <p>d. 一部の地域で、参加医療機関が少ないため、例年通りの体制が取れない恐れがある</p> <p>e. 多くの地域で未定</p> <p>f. 不明・その他 ( )</p>
<p>共同利用型(医師会病院等)</p>	<p>a. 該当地域で、参加医師の増員を増やすなどの対応を取る予定</p> <p>b. 通常のゴールデンウィークと同様の体制の予定</p> <p>c. 参加医師が少ないため、例年通りの体制が取れない恐れがある</p> <p>d. 未定</p> <p>e. 不明・その他 ( )</p>

3) 別表に掲げる課題のほかに、考えられる事項をお書きください。

課題	主な内容、現時点の対応状況

(4) 最後に、日本医師会や国に対するご意見、ご要望をお書きください。

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

## 現時点の課題（案・未定稿）

### （１）厚生労働省・総務省消防庁等の中央省庁、地方公共団体その他関係機関 に対する注意喚起、連携の要請

- ・ 年末年始、通常のゴールデンウィークとは違い、長期であり、途中の平日がなく、国民・社会も慣れていないものであること。従来の長期連休とは異なる事態であること。
- ・ 内外の多数の旅行者・レジャー客が国内を移動、マスギャザリング災害の恐れがあること

### （２）救急搬送・医療

- ・ 10 連休中における各地域の初期、二次、三次救急医療体制の構築、その状況把握（休日夜間の調剤体制を含む）
  - 特に初期、二次の体制充実
    - 通常よりも手厚く、診療科が広範な体制構築（在宅当番医、休日夜間急患センター、病院群輪番制、医師会病院）：財源（地方交付税）
    - 在宅当番医、休日夜間急患センター事業の未実施地域への対応
- ・ 市民・保護者に対する救急車適正利用、電話相談、救急医療体制に関する周知啓発（国、地域レベル）
- ・ 旅行・レジャー先等における事故や体調不良への対策（バイスタンダーによる救急蘇生の普及含む）
- ・ 救急医療機関から患者を受け入れる後方医療機関が連休で人員が限られていけば、いわゆる「出口問題」が深刻化

### （３）公的医療機関等

- ・ 公的医療機関等が担うべき役割の整理
- ・ 民間医療機関との役割分担（地域の実情反映）
- ・ 公立病院の外来休診

#### **(4) 医療の提供：人工透析やがん化学療法等、検査、手術、入院、在宅**

- ・人工透析やがん化学療法などの継続的な実施が不可欠な処置（関係医会、事業者との連携）
- ・計画的な検査・手術・入院の連休前後への集中、待機患者の増加（早期の検査、入院、手術が必要な患者の不利益）、緊急手術への対応困難
- ・医師会病院などの共同利用施設、地域の入院患者受け入れ施設としての有床診療所の活用可否
- ・在宅療養患者（高齢者、医療的ケア児等）の急変時対応、訪問診療・看護
- ・官公庁や、ライフライン・金融機関・物流を含む医療関連産業も連休となれば、医療提供・医業経営に支障

#### **(5) 外国人医療対策**

- ・中国においても、5月1日のメーデー（労働節）から始まる大型連休（黄金週）があるため、多数の訪日旅行客の到来が予想

※ 日本医師会では、第1回外国人医療対策会議（2018年7月4日）、外国人医療対策委員会の設置等により対応中

#### **(6) 介護、在宅医療分野**

- ・在宅患者の急変対応
- ・在宅における終末期とかかりつけ医への連絡
- ・介護施設等における人員確保（訪問看護、リハビリテーション他）

#### **(7) テロ災害対策**

- ・今上皇陛下のご退位、新天皇陛下のご即位のタイミング
- ・近年のテロはソフトターゲット化（病院、イベント会場、主要駅など）
- ・専門機関との連携

#### **(8) 日本医学会総会**

- ・医学会総会の期間中は、多くの医師が開催地（名古屋）に集まるため、医療提供体制が手薄になる地域もありうるため。